

1: 出席者

加藤^a・大西^b・能登・岡部・平林・大塚^c・内藤^c・須田^c・吉尾^c・合川^{c,d}

(^a:委員長, ^b:議長, ^c:オブザーバー, ^d:書記)

2: 報告

- IAEA Center Meeting に出席した。(加藤)
- Polarization の定義についての原案を作成した。(能登、大塚)
- 2002 年度年次報告書が完成した。(能登、平林)

3: 議論

- IAEA Center Meeting での議論について
論文のデータ収録情報調査を行うこととなった。JCPRG の担当は、98 年の PRL と PLB である。
2004 年国内発行の雑誌から CINDA 用のデータを作成し、NEA に送信する。
HENDEL を早急に公開する。
医療用のデータについては雑誌リストが作成された後採取を開始する。
2004 年の核データ国際会議が秋にサンタフェで行われ、その後 BNL において Center Head Meeting が開催される。
12 月に EXFOR のコーディングワークショップが IAEA にて開催される。参加希望申請を IAEA に送信する。
これまでに行われた $^{16}\text{O}\sim^{44}\text{Ti}$ の 粒子散乱データリストを至急作成する。
- コードについて
以下のコードを登録、修正する。
H-TYPE : SIGMA, DELTA-SIGMA (Obs. TOT-XSECTN)
V-TYPE : TOT-XSECTN (Obs. SIGMA, DELTA-SIGMA)
以下のコードを廃止する。
COMP-NUCL-PROC, CMPD-PROC
Polarization に関連した物理量の定義を作成する。
(例) KYY (Kyy component of polarization transfer),
今後はキーワードの定義をレキシコンに明示していくこととする。
キーワードに対しての定義がレキシコンに明示されている場合、辞書にフラグをつける。
- DARPE (DAta Retrieving and Plotting Engine) の公開について
7 月中に公開することとする。
- 採録対象雑誌について
Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B にて 3 編の対象論文が見つかった。
- 特別会計「高度放射線測定技術による革新炉用原子核データに関する研究開発」の会議について
8 月に北海道で開催する予定である。

4: 次回

2003年7月28日 18:30~